



ナチュラルEXPO
2008

ナチュラル EXPO



BioFach Japan

オーガニック EXPO

2008年 報告書

ナチュラル/オーガニックEXPO事務局

オーガニック/ナチュラルEXPO2008のご報告



はじめに

ドイツ ニュルンベルクグローバルフェアーズは、BioFach JapanオーガニックEXPOをIFOAM (国際有機農業運動連盟) の特別協力、農林水産省、環境省、東京都、日本貿易振興機構、そして欧州連合やドイツ大使館、日本アセアンセンターの後援、またその他関係者各位の協賛、協力を得て、平成20年9月24日(水)から26日(金)までの3日間、東京ビッグサイト西1ホールにて、開催いたしました。

また、同時期・同ホールにて特定非営利活動法人 全日本健康自然食品協会と共同主催で第11回ナチュラルEXPO 2008を日本貿易振興機構、(財)日本健康・栄養食品協会を始めとする数々の協会や団体、報道機関の後援・協賛のもとに開催いたしました。

「まもろう！人と自然の健康」をテーマとする両見本市ともに有機農業や、由来の確かな、環境に配慮した生産方式による農産物、加工食品・飲料から自然化粧品、天然素材を活用したナチュラル製品にいたるまで、多種多様な製品が展示、紹介されました。会期3日間を通じ、14,519名の来場を賜り、活発な商談や情報交換が行われる中、無事終了することができました。

本展が今年も成功裏に終了することができましたのも、ひとえにご出展各社・団体ならびに関係者各位のご協力の賜物であり、ここに謹んで感謝いたします。

2008年開催概要



会場

BioFach Japanオーガニック/ナチュラルEXPO
平成20年9月24日(水)～26日(金)
午前10時～午後5時 (24・25日はトレードデー、26日パブリックデー)
東京国際展示場(有明、東京ビッグサイト)西1ホール
東京都江東区有明3-21-1

出展対象

有機農産物生産者、オーガニック製品・ナチュラル製品メーカー、輸入商社、健康産業関連企業

来場対象

有機・自然食品専門店・商社、スーパー・デパート、食品問屋、専門店、量販店、ドラッグストア、通販、有機・自然関連事業・協会・団体、一般消費者

入場料

1,000円(登録入場制、2イベント共通入場券)

(オーガニックEXPO)

主催

ニュルンベルクグローバルフェアーズ

特別協力

IFOAM (国際有機農業運動連盟)

後援

農林水産省、環境省、東京都、日本貿易振興機構、欧州連合、ドイツ大使館、国際機関 日本アセアンセンター(順不同)

協賛

日本小売業協会、日本セルフサービス協会、日本チェーンストア協会、日本有機食品認定連絡協議会、有機JAS登録認定機関協議会、日本ウエルネス協会、日本オーガニックコットン協会(順不同)

協力

日本農業新聞、クレヨンハウス、自然と農業、グリーンハンド編集部、食品産業新聞社、塗料報知新聞社、アイシス編集部、週刊粧業、WWD/INFASパブリケーションズ、オルタナ、キラジェンヌ、ぐるなび、アルカモール、エココロ(順不同)

展示規模

182社、165小間、23カ国

(ナチュラルEXPO)

主催

特定非営利活動法人 全日本健康自然食品協会(NPO全健協)、ニュルンベルクグローバルフェアーズ

後援

日本貿易振興機構(JETRO)(財)日本健康・栄養食品協会、(財)都市農山漁村交流活性化機構、(社)日本農林規格協会、(社)農山漁村文化協会、NPO法人 日本ホリスティック医学協会、NPO法人 日本オーガニック&ナチュラルフーズ協会、日本ブルーベリー協会、日本特用林産振興会、日本わかめ協会、健康と食品懇話会、薬業健康食品研究会、未来食品技術研究会、NNFAジャパン、CRN JAPAN、九州自然食品協同組合、日本CI協会、正食協会、東京米粉普及推進連絡会、有限責任中間法人 日本雑穀協会、国産雑穀全国普及協会、(財)地球環境財団、日本健康食品規格協会

協賛紙誌

(株)食品化学新聞社、(株)日本食糧新聞社、(株)食料タイムス社、(株)健康産業流通新聞社、ニューマガジン社、CMPジャパン(株)

展示規模

60社、65小間、3カ国

ナチュラル/オーガニックEXPO2008のご報告



来場者数

日程	天気	来場者数
9月24日(水)	晴れ	4,067
9月25日(木)	曇り	5,104
9月26日(金)	曇り	5,348
合計		14,519



セミナー内容

24日

2イベント合同セミナー：オーガニックコットンにおけるフェアトレード

講師：北澤 肯（フェアトレード・リソースセンター代表）

宮崎 道男（日本オーガニックコットン流通機構 代表理事）

主催：日本オーガニックコットン流通機構

概要：世界におけるフェアトレードの現状、スイスREMEI社の活動状況

ここ数年、環境問題の高まりとともに繊維業界ではオーガニックコットンが脚光を浴びています。消費の間では、安心、安全が重要視されており、供給する側もフェアトレードを口にする人たちも増えてはきていますが、具体例を挙げられる人は少数です。例えば児童労働、強制、差別の撤廃、労働者の健康と安全、等々ありますが、具体的にどの様な活動が行なわれているのかREMEI社の例を紹介させて頂きながら説明しました。

島根県機能性食品産業化プロジェクトと健康自然食品との接点

講師：杉中 克昭（生物応用グループ 科長、島根県産業技術センター）

主催：島根県庁産業振興課

概要：「秘境」島根は、生産地を大切に、産学官連携により、有機JAS、エコ栽培、データの裏付け、トレーサビリティ等のものでづくりをベースに、県産品を用いて、顔の見える安全安心で、毎日の健康生活に寄与する独自の食品づくりの産業化に取り組んでいます。

現代のマクロビオティック

講師：勝又 靖彦（日本CI協会 会長）

主催：日本CI協会

概要：マクロビオティックを取り巻く環境について。

25日

タイ国主催セミナー：タイのオーガニック農業＜通訳付き＞

主催：タイ大使館

概要：タイのオーガニック農業に関する取組みと今回のタイパビリオンに出展してきた会社の企業プレゼンテーション

ナチュラル/オーガニックEXPO2008のご報告

GOTSのプレゼンテーション

講師: 森 和彦 (日本オーガニックコットン協会 顧問)

主催: 日本オーガニックコットン協会

概要: GOTS (有機繊維製品世界基準)の意義、経過などについて。

タウトロップェン 新商品セミナー<通訳付>

講師: 鈴木 知佐子

主催: 株式会社 おもちゃ箱

概要: ナチュラルコスメブランドとして、高い評価を得ているタウトロップェン社より、新商品発売！
これまでナチュラルコスメが苦手とされてきた分野をクリアした、高機能商品を紹介しました。

アメリカにおけるオーガニック最前線 <通訳付>

講師: ポール・スペンサー (アメリカ大使館 農務部 主席農務官)

主催: アメリカ大使館

概要: アメリカにおけるオーガニック最前線について。

日本貿易振興機構(JETRO)セミナー<通訳付>

講師: Elton Jefthas (ASNAPP), Jonathan Landrey (PhytoTrade Africa)

主催: JETRO

概要: アフリカで探すビジネスの種—スパイス、ハーブ、コスメについて。

26日

埼玉県小川町発 食・エネルギー自給循環型まちづくり

講師: 金子 みどり (霜里農場)

主催: オーガニックEXPO事務局

概要: 有機農業の基本である土づくり、鳥や虫との共存、生産者が作った作物が消費者に渡る時の顔と暮らしの見える人間関係などを絵や写真で解説し、日本農業の将来、自然エネルギーの活用などについて、長年、環境に優しい農業に取り組んできた農業感を解説しました。

JONAセミナー:有機農業の世界共通の目標

講師: 松本 憲二 理事長 (日本オーガニック&ナチュラルフーズ協会(JONA)理事長)

主催: 日本オーガニック&ナチュラルフーズ協会(JONA)

概要: 世界各国の有機基準や基準設定の理由を比較検討すると、幾つかの基本的な要因に集約することが出来る。土壌の重視、化学肥料・農薬・食品添加物などの使用禁止、生物多様性の保持、自然資源の有効利用、GMO技術や放射線の使用禁止、計画に基づく有機生産、生産諸条件の確認、流通過程での有機一貫性の確保などである。本講演では、このような目標が何故求められているかを中心に 有機食品の概略を紹介した。

IFOAM セミナー有機農業の世界—傾向と原則<通訳付>

講師: Andre Leu (IFOAM世界理事メンバー)

主催: IFOAM

概要: IFOAMの世界理事が消費者の観点からみた有機農業のトレンドと世界各地の消費と販売の促進について解説しました。

出展社一覧(オーガニックEXPO)

ブースNo.	あへお	出展品	ブースNo.	かへこ	出展品
P-12	アイシス編集部	情報	4-B31	(株)海東ブラザース	中国茶
3-B25	(株)アイピー通商	ペットフード	3-B32	(株)金沢大地	キッチンミル
1-B26	青葉貿易(株)	食品	3-B35	川崎リボン工業(株)	コットン製品
4-B46	アサヒ精密(株)アサヒクリエイツ	コットン製品	P-11	(株)木香書房「自然と農業」編集部	情報
4-B43	アティチュード	洗剤	P-16	キラジェンヌ(株)	情報
3-B43	(株)アバンティ	コットン製品	P-9	(株)グリーンハンド	オーガニック 電話帳編集部
2-B24	(合)アリモト	玄米シリアル クラッカー	1-B35	(株)グッドホープ総研	自然化粧品
2-B40	アルデバラン(株)	自然化粧品	3-B7	(株)ぐるなび	情報
1-B36	(株)アンコール・アン	アルガンオイル	2-B40	(株)クレコス	自然化粧品
2-B33	イノーピアフィルム(株)	包装用フィルム	P-10	(株)クレヨンハウス	情報
3-B25	(株)イシイ	ペットフード	2-B45	(株)ケーター・インターナショナル	自然化粧品
3B-36	(株)イデアインターナショナル	自然化粧品	1-B24	(株)コスモス食品	フリーズドライ 製品
P-17	(株)INFAS/パブリケーションズ	情報			
2-B42	(株)ヴィーゼ	自然化粧品			
2-B45	ヴェリマ社	自然化粧品			
2-B26	内堀醸造(株)	食酢			
P-18	(株)エスプリ	情報			
4-B36	(協)エヌエス	コットン製品			
3-B31	(株)エムジー・ワールド	清涼飲料			
4-B46	(株)オオサカヤ	コットン製品			
3-B34	(株)おもちゃ箱	自然化粧品			
3-B21	雄山(株)	食品・飲料			
P-15	(株)オルタナ	情報			

出展社一覧(オーガニックEXPO)

ブースNo.	さへそ	出展品	ブースNo.	なへの	出展品
4-B14	サーティ・セブン・ワインズ・アンド・スピリッツ	ワイン	2-B35	ナチュラルピュリファイ研究所	自然化粧品
3-B30	(有)桜江町桑茶生産組合	桑・大麦・ケール	1-B43	ナチュラルレーベン(株)	自然化粧品
1-B38	(有)サンシャインカンパニー	自然化粧品	1-B20	(株)ニチドウ	ペットフード
1-B23	(有)三和農産	米	3-B23	(株)ニチレイ フレッシュ	肉(鶏)
P-14	(株)シーアイシー	情報	4-B60	日本アセアンセンター	情報
3-B30	しまね有機ファーム(株)	桑・大麦・ケール	4-B10	(財)日本ウエルネス協会	情報
1-B47	ジャパン・オーガニック(株)	自然化粧品	4-B46	日本オーガニックコットン協会	情報
P-13	(株)食品産業新聞社	情報	2-B49	日本オーガニックコットン流通機構	コットン製品
4-B42	新道繊維工業(株)	コットン製品	2-B49	日の出毛織(株)	コットン製品
4-B41	天衣無縫・(株)新藤	コットン製品	1-B22	日本オーガニック&ナチュラルフーズ協会	食品各種
1-B42	(株)スタイラ	自然化粧品	3-B56	(社)日本セルフ・サービス協会	食品各種
2-B41	スパイク	自然化粧品	1-B49	(株)ニールズヤード レメディーズ	自然化粧品
ICHI	(NPO)セミナーレ・エ・ヴィーヴェレ	情報	2-B53	ニュルンベルクメッセBioFach オーガニックEXPO インフォメーション	情報
2-B41	(有)セミンツ	自然化粧品	3-B57	農林水産省	情報
ブースNo.	たへと	出展品			
3-B47	(株)たかくら新産業	自然化粧品、 家庭用品			
4-B32	高橋ソース(株)	調味料			
2-B49	壺内タオル(株)	コットン製品			
4-B26	天鷹酒造(株)	日本酒			
3-B59	東京都	情報			
3-B15	トゥージイ(有)	ワイン			
4-B9	ドメティック(株)	情報			

出展社一覧(オーガニックEXPO)

ブースNo.	は〜ほ	出展品
3-B37	(株)ハート	コットン製品
4-B50	ハーブ研究所 スパール	自然化粧品
1-B18	(株)花田	革用クリーム
2-B49	(株)パノコトレーディング	コットン製品
2-B31	(株)FAR EAST	食品各種
2-B41	ファファラ	自然化粧品
1-B25	福岡農産(株)	玄米、白米
2-B47	(株)フローラ	植物活力液
2-B48	(株)ボンシック	ホホバオイル

ブースNo.	ま〜よ	出展品
2-B49	(株)前田源商店	コットン製品
2-B49	マザーズ	コットン製品
4-B22	(株)マドーナコーポレーション	アイスクリーム
4-B29	マルカワみそ(株)	みそ
2-B36	メიმプロダクツ(株)	自然化粧品
4-B24	(株)ヤッホー・ブルーイング	ビール
4-B58	(株)ヤマト醤油味噌	玄米あまざけ
4-B58	有機JAS登録認定機関協議会	情報
2-B53	輸入相談ブース	情報
3-B9	(株)ライトハウス	ペットフード
2-B41	(株)ロゴナジャパン	自然化粧品
2-B41	ロゴコス	自然化粧品
1-B39	(株)ロハスコスメ	自然化粧品

出展社一覧(オーガニックEXPO)

Australia/オーストラリア			Austria / オーストリア		
3-B19	オーストラリアン・サーティファイド・ オーガニック 有機認定機関		3-B11	Bio Austria	ワイン
			1-B11	Andert Michael	ワイン
3-B19	BioGro New Zealand Inc.	自然化粧品	1-B11	Bio-Weingut Geyerhof	ワイン
			1-B11	BIOWEINGUT soellner	ワイン
1-B11	SUNSHINE Pavillion	肉(鶏)、飲料	1-B11	Destillerie Ollmann	ワイン
			1-B11	Gut Oberstockstall	ワイン
1-B11	Australian Honey Products Pty. Ltd.	蜂蜜、ビール	1-B11	Josef V. Farthofer, Edeldestillerie	ワイン
			1-B11	Lukashof, Dagmar & Alois Huegler	ワイン
1-B11	B.-d. Farm Paris Creek Pty. Ltd.	チーズ、 ヨーグルト	1-B11	Meinklang,Biodynamisch. Demeter, MEINKLANG- Weingut Michlits	ワイン
			1-B11	Weinbau Pferschy-Seper	ワイン
1-B11	Good Vibes for You Pty. Ltd.	飲料	1-B11	Weingut Sepp und Maria Muster	ワイン
			1-B32	マハリシ・ヴェーディック・オーガニックアグリ カルチャー・ワールド・ピース(株)	フルーツ、 穀物
1-B11	Organic Trend International	自然化粧品	Belgium / ベルギー		
			1-B14	LUTOSA JAPAN	じゃがいも製品
1-B11	Parker's Organic Juices	飲料	Brazil / ブラジル		
1-B11	Puralia	肉	2-B25	ブラジル大使館	情報
1-B19	Robinvale Wines	ワイン	2-B25	(株)フロレスタス ジャパン	自然化粧品
			2-B25	Industria de Acucar Organico Ltda.	黒砂糖
1-B11	The Organic Meat Company (Sanger)	肉	2-B25	MV エクスポート社	ジュース、蜂蜜
			2-B25	コンパニア オルガニカ	コーヒー
			2-B25	スルヤ ネイチャー	自然化粧品
			France / フランス		
			4-B35	Bio-Sorelia	洗浄剤

出展社一覧(オーガニックEXPO)

Germany / ドイツ			Costa Rica / コスタリカ		
3-B10	Ifoam—International Federation of Organic Movements	情報	2-B30	Rainbow Export Processing S.A.	水産物
3-B32	Komo GmbH	家庭用品	Greece / ギリシャ		
4-B19	Lifebrands Natural Food GmbH	自然食品	4-B37	BIOSELECT	自然化粧品
4-B12	NOA — Naturally Organic Agency (Germany)	ワイン、飲料	4-B37	BioBeauty	自然化粧品
	Afros (Portugal)	ワイン	India / インド		
	Azienda Agricola Le Carline (Italy)	ワイン	4-B23	RAGHUNATH EXPORTERS	紅茶、スパイス
	Bioweingut Lorenz (Germany)	ワイン	3-B41	SRC CREATIONS	コットン製品
	Domaine Gioulis S.A. (Greece)	ワイン	Italy / イタリア		
	Marco Abella (Spain)	ワイン	4-B16	La Cantina Pizzolato	ワイン
	Meinklang.Biodynamisch. Demeter, MEINKLANG-Weingut Michlits (Austria)	ワイン	3-B15	ペルラージュ	ワイン
	Privatweingut Hofmann (Germany)	ワイン	3-B33	RUSTICHELLA D'ABRUZZO SPA	パスタ
	Quinta de Covela S.A. (Portugal)	ワイン	3-B13	Azienda Agricola Giol S.S. Soc. Agr.	ワイン
	Weinbau Biohof Pratsch (Austria)	ワイン	3-B13	Soc. Agr. La Raia s.s.	ワイン
	Weingut Juergen & Peter Landmann GbR	ワイン			
2-B30	Ristic AG	水産物			
2-B34	TOFUTOWN.com GmbH	大豆加工製品			
1-B36	ARGAND'OR GmbH	アルガンオイル			
2-B4	プリマヴェーラライフ社	自然化粧品			
3-B34	タウトロツフェン	自然化粧品			
1-B35	ドクターハウシュカ	自然化粧品			
1-B25	Lundberg Family Farms	玄米、白米			

出展社一覧(オーガニックEXPO)

Korea / 韓国

4-B48	バイオスキンテク	天然保存料
4-B34	チュウオン農園	飲料、梨

Madagascar / マダガスカル

4-B7	Sigma Sa	蜂蜜、スパイス
4-B7	PHAEL FLOR EXPORT	蜂蜜、スパイス

Mexico / メキシコ

2-B13	メキシコ大使館	情報
2-B13	ADMINISTRADORA CORPORATIVA GIBRALTAD S.A. DE C.V.	コーヒー、蜂蜜
2-B13	SESAJAL S.A. DE C.V.	植物油
2-B13	FRUTAS Y HORTALIZAS ORGANICAS DE MICHOACAN MEXICO S.A. DE C.V.	アボカド
2-B13	TOMAY TRADE CO. S.A. DE C.V.	アガベシロップ
2-B13	TOCORINGA S.A. DE C.V.	コーヒー
2-B13	Super Packing TKT S.A. de C.V.	キャラメル
2-B13	IMPULSO ORGANICO A.C.	乾燥果実
2-B13	LA LATERNATIVA NATURAL PRODUCTOS S.A. DE C.V.	ワカモレ、茶

New Zealand/ニュージーランド

3-B19	Biological Farmers of Australia	各種
-------	---------------------------------	----

Sri Lanka / スリランカ

4-B20	Lanka Organics (PVT) Ltd.	有機製品
-------	---------------------------	------

Switzerland/ スイス

2-B32	エコ・ビジョン・ジャパン	食器
-------	--------------	----

Taiwan / 台湾

1-B29	Ihrmarke AG Taiwan Branch	飲料物
-------	---------------------------	-----

Thailand / タイ

1-B07	Thailand -- Department of Export Promotion	情報
1-B07	Thai Organic Trade Association	情報
1-B07	Chiangmai Organic and Spa Co., Ltd.	ソープ
1-B07	Earth Born Co., Ltd.	ココナツ製品
1-B07	Merit Food Products Co., Ltd.	ココナツ製品
1-B07	Southeast Asia Organic Co. Ltd.	各種
1-B07	Swift Co., Ltd.	野菜、果実

Turkey / トルコ

1-B12	TIRYAKI AGRO FOODS INDUSTRY CO.,	穀物
-------	----------------------------------	----

USA / アメリカ

2-B11	アメリカ大使館 農産物貿易事務所	情報
1-B31	Enray Inc.	穀物、果物
4-B5	F.O.F (Farmer's Organic Foods) International	卵、肉
1-B33	Sittin Pretty Natural Dog Bakery	ペットフード

出展社一覧(ナチュラルEXPO)

ブースNo.	あへお	出展品	ブースNo.	さへそ	出展品
N-103	味の醸造(株)	発酵調味料	1-N59	佐々木製茶(株)	茶
2-N56	(株)奄美自然食本舗	食品	2-N61	グリーンファームさとう [(株)佐藤工務店]	各種
1-N63	(株)アルネット	自然化粧品	1-N63	三育フーズ(株)	食品
2-N61	(株)いづも屋	各種	3-N83	三州三河みりん(株) 角谷文治郎商店	食品
1-N57	エコロジーファーム(株)	食品	2-N61	島根県	情報
2-N64	(株)エルゴン	米	2-N61	島根県県機能性食品 産業化プロジェクト	食品
1-N60	オーサワジャパン(株)	食品、化粧品等	N-101	(株)寿草	サプリメント
N-105	(株)大村屋	ゴマ製品	2-N67	(株)純正食品マルシマ	食品
2-N61	奥出雲 中村フォーム	食品	P-2	(株)食品化学新聞社	情報
2-N61	奥出雲豊潤(にた)農園[(有) 植田工務店]	各種	P-6	(株)食料タイムス社 & 日本わかめ協会	わかめ
1-N51	(株)おとうふ工房いしかわ	食品	2-N52	(株)スカイ・フード	食品
N-110	(株)オハラ	食品	4-N85	特定非営利活動法人 全日本健康自然食品協会	情報
			1-N63	(株)創健社	食品
ブースNo.	かへこ	出展品	ブースNo.	たへと	出展品
N-109	柿茶本舗(有) 生化学研究 所	柿の葉茶	2-N64	(有)大芳商会	加工食品
2-N62	木曾路物産(株)	モンゴル天然素 材	N-102	太陽食品(株)	食品
1-N63	健康コーポレーション(株)	各種	P-5	中華有機農産物協会	情報
P-8	健康産業新聞	情報	3-N79	チヨコ醤油(株)	食品
P-4	(株)健康産業流通新聞社	情報	1-N63	東京フード(株)	加工食品
N-107	コーケン産業(株)	生活用品	1-N53	トーション(株)	食品
			3-N62	Da Jung Co., Ltd.	食品

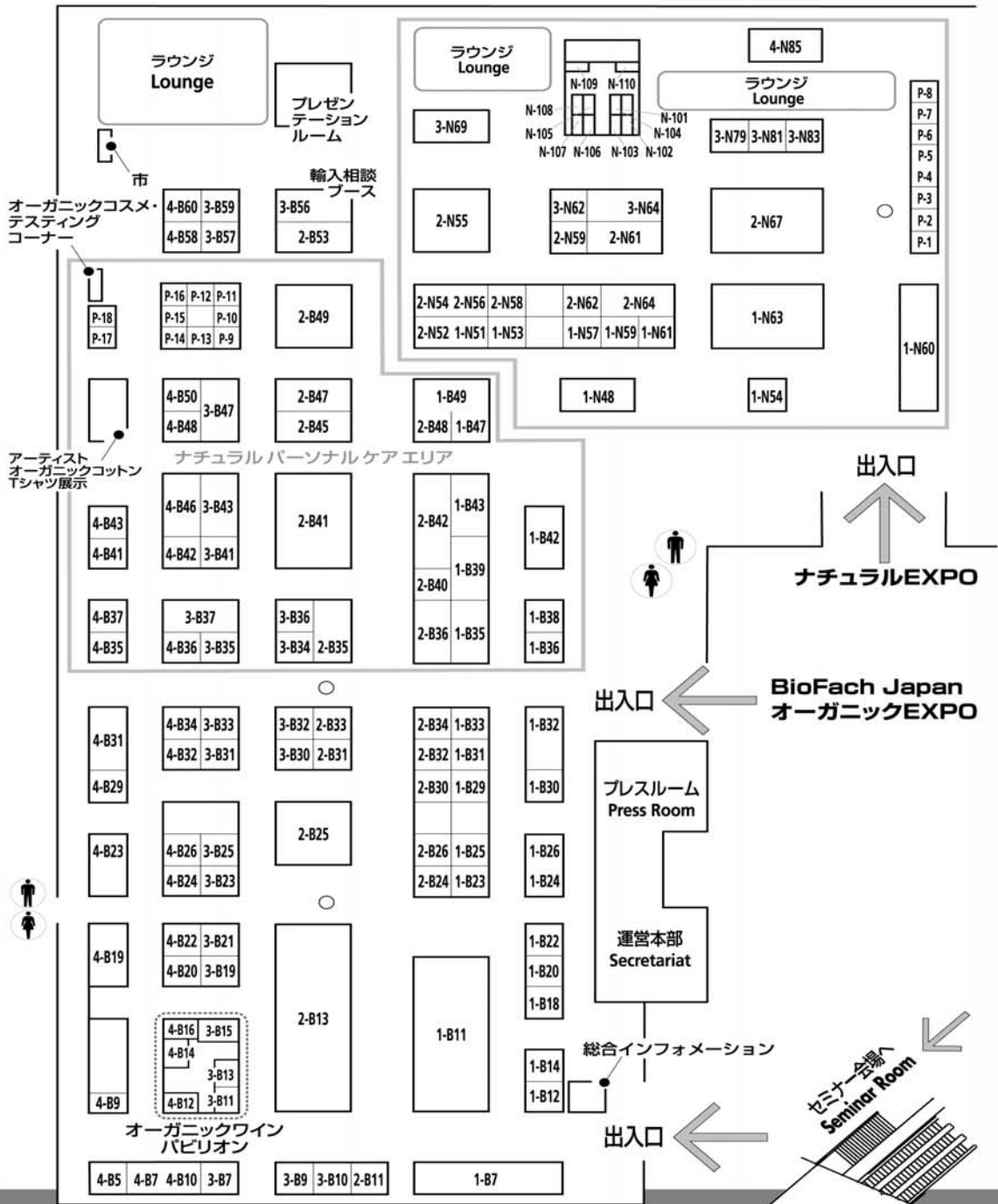
出展社一覧(ナチュラルEXPO)

ブースNo.	なへの	出展品
1-N63	笛木醤油(株)	醤油加工品
3-N69	(財)日本健康・栄養食品協会	情報
N-104	日本食品工業(株)	食品
P-3	(株)日本食糧新聞社	情報
2-N55	日本貿易振興機構(ジェトロ)	各種
P-7	ニューマガジン社	情報
1-N61	(株)ニューミクロス	乳酸菌食品
P-1	(社)農山漁村文化協会	情報

ブースNo.	は〜ほ	出展品
3-N81	伯方塩業(株)	塩
N-108	(株)播磨園製茶	茶
2-N54	七福醸造(株)	醤油
3-N64	(株)ピュアブライト	食品、化粧品等
1-N63	富士食品(株)	雑穀、穀類加工食品

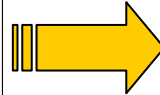
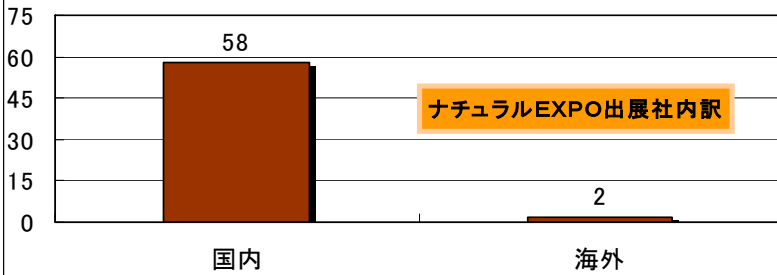
ブースNo.	ま〜よ	出展品
2-N58	(有)マルアイ食品	食品
N-106	マルサンアイ(株)	食品
3-N79	(株)まるや八丁味噌	食品
2-N54	(株)薬膳ハート	中国漢方
2-N61	安来オーガ(有)	各種
1-N54	(株)ヤマト	健康医療機器
2-N61	ヤマノ(株)	各種
2-N59	ワープ太陽(株)	健康医療機器
1-N48	ワインハウスゲアハルト(株)	ワイン

会場図

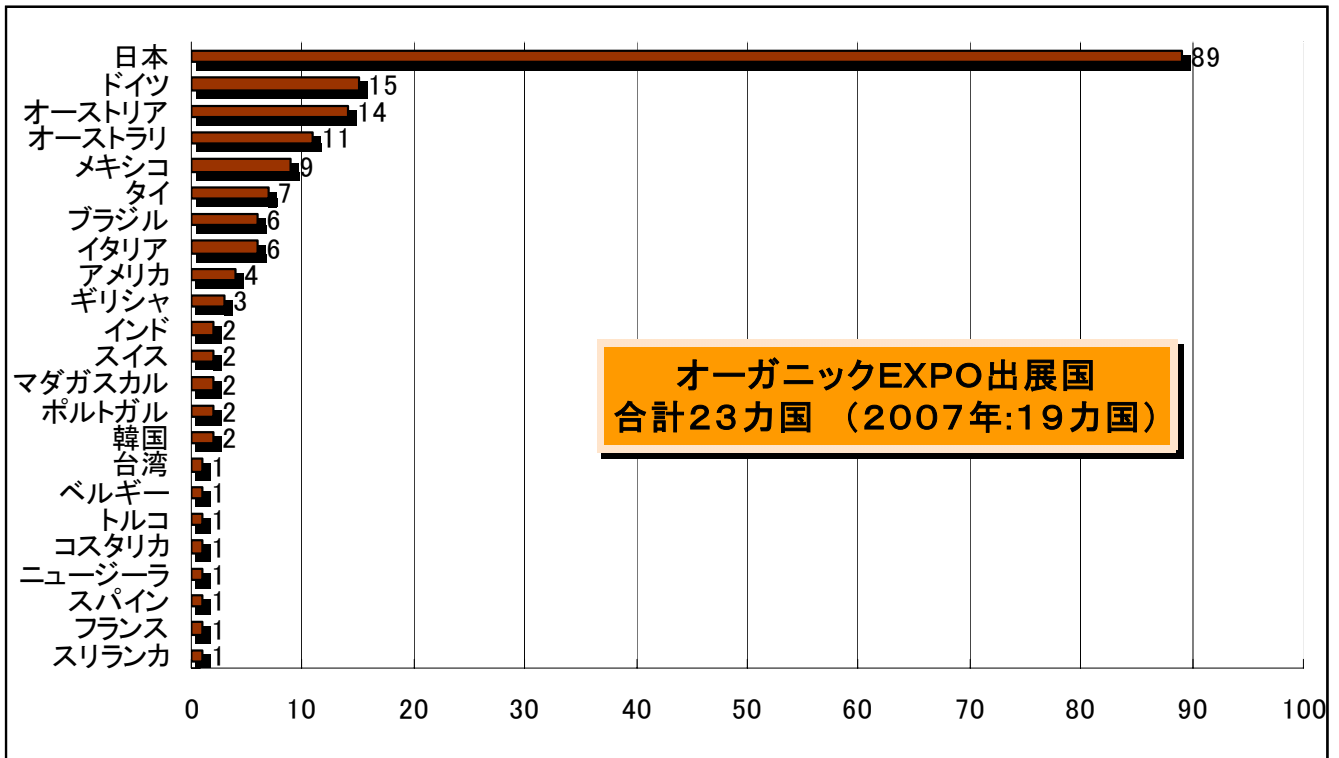
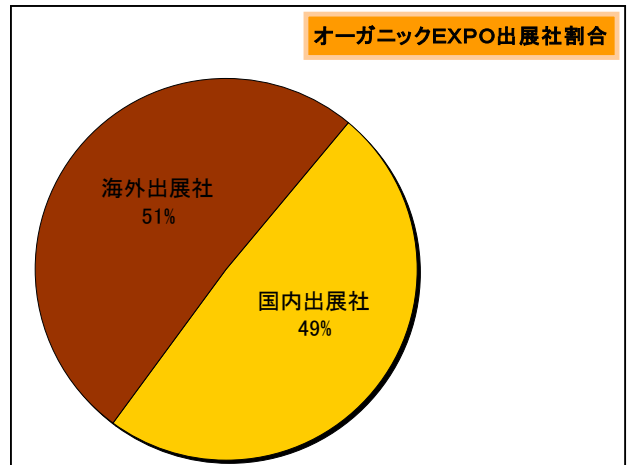


会場案内図 / Floor Map

出展社プロフィール



海外は、韓国、台湾からご出展いただきました。日本貿易振興機構は日本の出展社として計上しましたが、アフリカパビリオンでした。

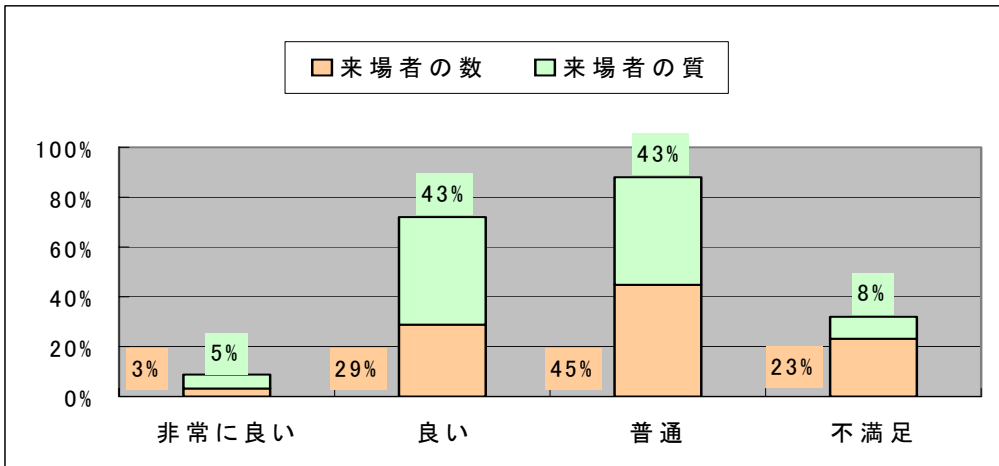


オーガニックEXPO出展国
合計23カ国 (2007年:19カ国)

出展社アンケート

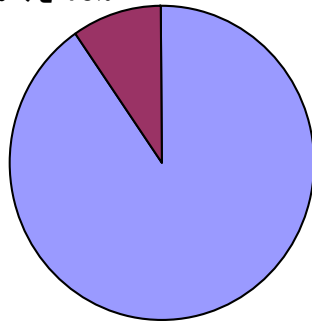


来場者について



外国の来場者がありましたか

いいえ 10%



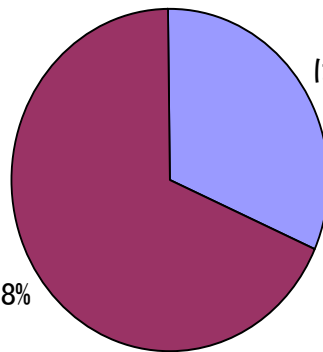
はい 90%

国名

シンガポール、台湾、韓国、ブラジル、ブータン、中国、イタリア、メキシコ、オランダ、ドイツ、フランス、USA、インド、イギリス、オーストラリア、ロシア、ベルギー、マレーシア、タイ、リヒテンシュタイン、マダガスカル

事前に宣伝を強化すべきであったか

いいえ 68%



はい 32%

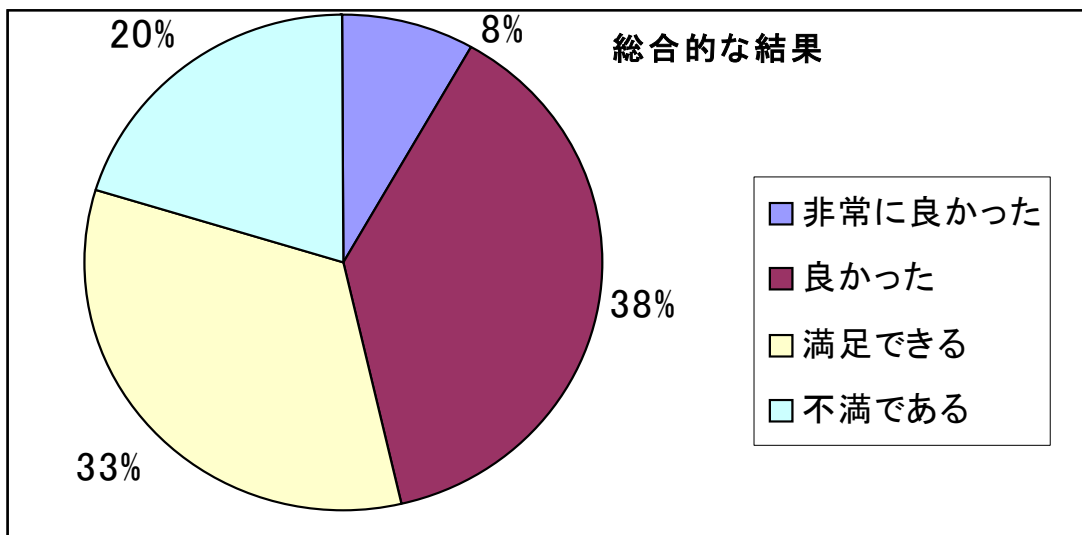
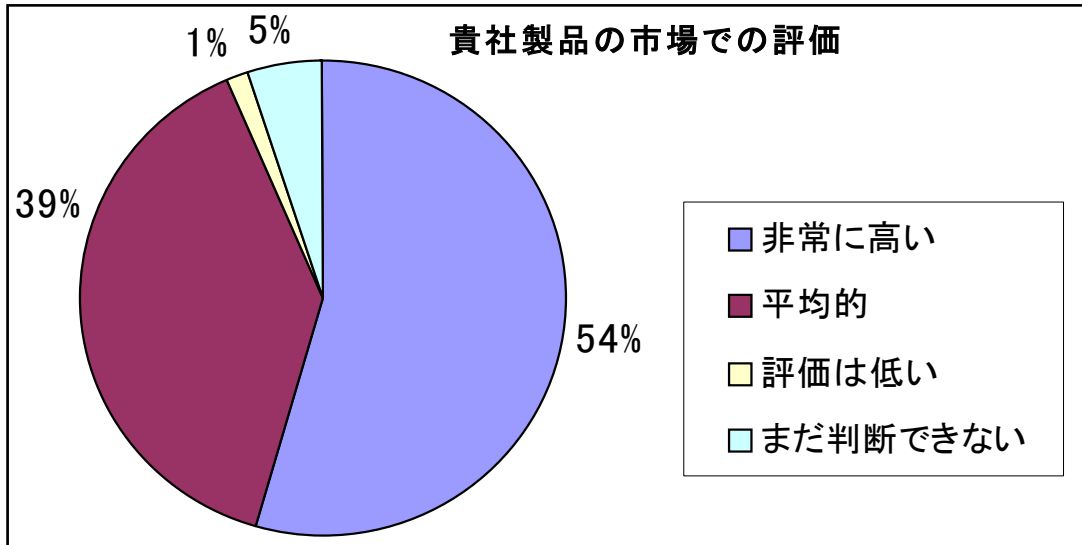
対象として

小売・外食
 ケータリング会社
 デパート関係
 カタログ・通販関係
 オーガニック生産・製造者

出展社アンケート



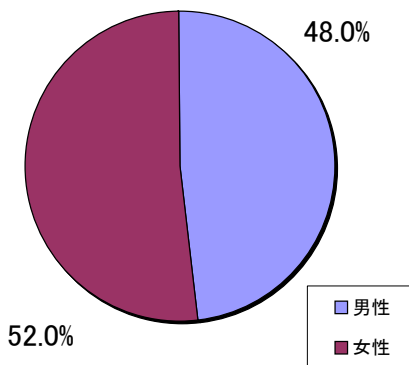
出展の結果



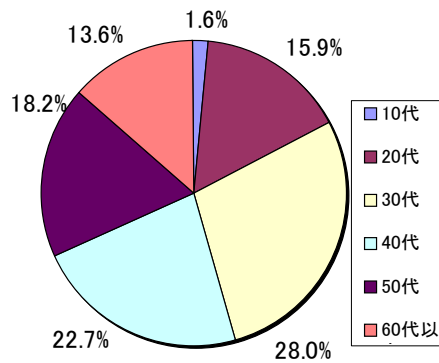
来場者アンケート

来場者プロフィール

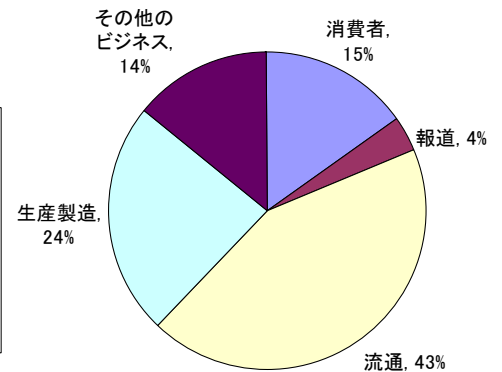
来場者の性別



年齢

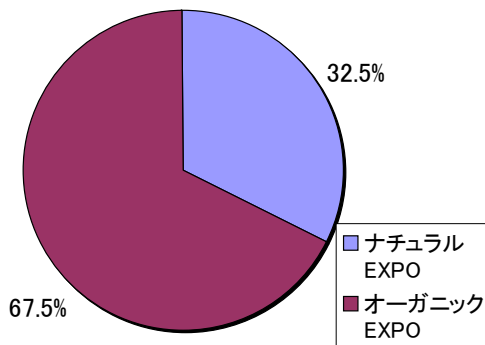


職業

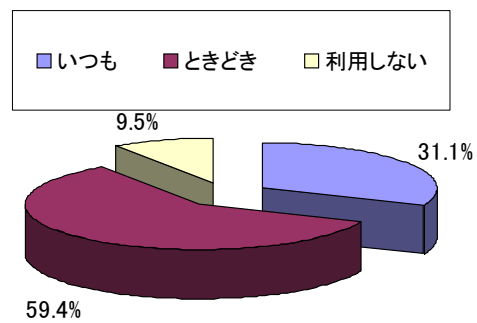


来場者アンケート結果

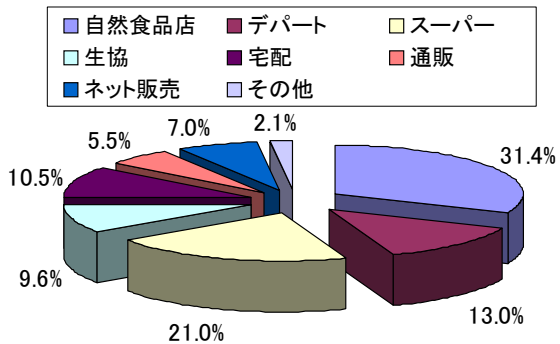
来場目的



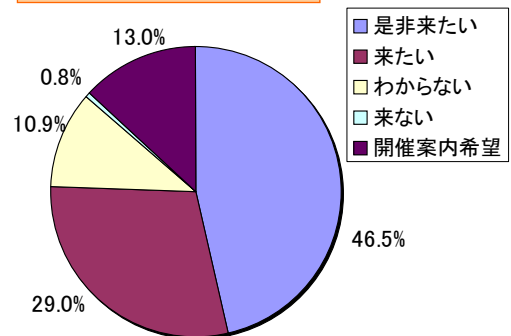
自然・有機食品を利用していますか



自然・有機食品購入先



次回来場予定



※今回もアンケート回収一件につき50円を「地球緑化クラブ」に寄付させていただきました！

各種媒体搭載記事

ナチュラルEXPO2008記者発表

全日本健康自然食品協会

特定非営利活動法人全日本健康自然食品協会(東京都文京区、☎03-3814-0062)は先月28日、東京で『第11回ナチュラルEXPO2008』(併催「Bio Fach Japan-オーガニックEXPO」)の記者発表を行った。

今日は「まもろう! 人と自然の健康」を共通スローガンとして、来月24日~26日の3日間、東京ビッグサイトで開催。有機・自然・健康に特化したトレードショーとして、来場者2万人、出展企業400社を見込んでいます。

今年はエコロジーと健康の2大テーマに関連セミナーを多数用意。中でもナチュラルなライフスタイルを体現したのものとして「マクロビオティック」関連がメインになる。マクロビオティック団体の日本O協会会長・勝又靖彦氏の講演が予定されている。

同展示会では出展品基準が定められて



おり、自然生態系、環境に配慮した製品群であること、化学的合成成分を含まない、安全・安心を追求した製品群であること、伝承のエビデンスにもとづいた、健康改善のための実践豊富な製品群であることをクリアしたものがだけが出展できる。

併催のオーガニックEXPOでは、ジェトロ(日本貿易振興機構)後援によるアフリカパピリオン、持続可能な食品・農業プロジェクトを進める島根県アースなどの初出展が予定されている。



「まもろう! 人と自然の健康」を共通スローガンとして、来月24日~26日の3日間、東京ビッグサイトで開催。有機・自然・健康に特化したトレードショーとして、来場者2万人、出展企業400社を見込んでいます。

今年はエコロジーと健康の2大テーマに関連セミナーを多数用意。中でもナチュラルなライフスタイルを体現したのものとして「マクロビオティック」関連がメインになる。マクロビオティック団体の日本O協会会長・勝又靖彦氏の講演が予定されている。

同展示会では出展品基準が定められており、自然生態系、環境に配慮した製品群であること、化学的合成成分を含まない、安全・安心を追求した製品群であること、伝承のエビデンスにもとづいた、健康改善のための実践豊富な製品群であることをクリアしたものがだけが出展できる。

「バイオファ」「ナチュラル EXPO」共催で会見
「健康高く、商談につながる」と高い評価

オーガニック・ナチュラル製品に特化した見本市「Bio Fach Japan」(併催「Bio Fach Japan-オーガニックEXPO」)と「ナチュラルEXPO」は9月24、25、26日に東京ビッグサイトで展示会を共同開催する。7月23日には東京・青山のラジアル大使館で共同記者会見し、共通スローガン「まもろう! 人と自然の健康」ほか開催概要について説明した。

バイオファ・オーガニックEXPOでは有機農産物産品またはバイオファ独自基準をクリアした食品のみを国内外から多種多様に集めて展示。米や緑茶、酒など和の食材から、海外からは穀類、畜産肉、水産物など安心・安全でおいしい食品が並び、また今年はオーストラリア、ブラジル、メキシコに、タイが初めてグループ出展。オーガニックワインでは昨年に続いてティマパピリオンを開催概要を説明するクールマン代表

説明。オーストリアやイタリア、ドイツの、EJ基準のくし屋。特に今年は健康食品基準に準拠して取り組む島根県が行政として参加。また、アフリカにちなみジェトロがアフリカパピリオンを後援。アフリカの自然化粧品やセアリメンを紹介する。

あわせて180社200小間、18カ国1地域が出展予定で、来場者は2万人を見込む。

バイオファ主催のニュルンベルク・グロバルフェアアース日本代表部のハインツ・W・クルマン代表は「昨年の世界のナチュラル・オーガニック関連市場は400億を越えたといわれる。食品から徐々にソフト製品に広がりを見せており、化粧品やオーガニックコットンなどが急成長分野。日本は米、EJに次ぐ市場であることは間違いなく、また将来性の高いアジア市場の中心としてもある。来場者の意識も高く、確実に商談につながる見本市と評価を受けている」と説明。特に今年は外食産業関係者の入場者増を期待する、と話した。

食料業界新聞
(2008.8.18)

各種媒体搭載記事

9月に有機食品展示会

IFO主催のニュールンベルク・クロール・フェア
「ナチュラル EXPO 08」など



ハインツ・クルマン
日本事務所代表

IFO主催の「特定保健用食品(機能性表示食品)健康食品」から26日朝までの3日間開催される。ニュールンベルク・クロール・フェアのフェア会場、有機食品の展示会(第1回)「ナチュラル EXPO 08」、第2回「ナチュラル EXPO 08」、第3回「ナチュラル EXPO 08」、第4回「ナチュラル EXPO 08」の共同記者会見を行った。両展示会は、東

「深ビックサイトの西1、2ホールを使い、8月1日の朝から26日朝までの3日間開催される。ニュールンベルク・クロール・フェアのフェア会場、有機食品の展示会(第1回)「ナチュラル EXPO 08」、第2回「ナチュラル EXPO 08」、第3回「ナチュラル EXPO 08」、第4回「ナチュラル EXPO 08」の共同記者会見を行った。両展示会は、東

「深ビックサイトの西1、2ホールを使い、8月1日の朝から26日朝までの3日間開催される。ニュールンベルク・クロール・フェアのフェア会場、有機食品の展示会(第1回)「ナチュラル EXPO 08」、第2回「ナチュラル EXPO 08」、第3回「ナチュラル EXPO 08」、第4回「ナチュラル EXPO 08」の共同記者会見を行った。両展示会は、東

「深ビックサイトの西1、2ホールを使い、8月1日の朝から26日朝までの3日間開催される。ニュールンベルク・クロール・フェアのフェア会場、有機食品の展示会(第1回)「ナチュラル EXPO 08」、第2回「ナチュラル EXPO 08」、第3回「ナチュラル EXPO 08」、第4回「ナチュラル EXPO 08」の共同記者会見を行った。両展示会は、東

「深ビックサイトの西1、2ホールを使い、8月1日の朝から26日朝までの3日間開催される。ニュールンベルク・クロール・フェアのフェア会場、有機食品の展示会(第1回)「ナチュラル EXPO 08」、第2回「ナチュラル EXPO 08」、第3回「ナチュラル EXPO 08」、第4回「ナチュラル EXPO 08」の共同記者会見を行った。両展示会は、東

オーガニック EXPO ナチュラル EXPO 「メキシコが最大級の出展」

「BioFach Japan オーガニック EXPO 2008」(ナチュラル EXPO 2008)が、9月24～26日に東京ビッグサイトで開催された。世界23カ国から181社(団体)が出展した。タイがグループ出展(8社)し、米国も初出展した。

国内出展者では、ニチレイフレッシュが、フランス産のオーガニックチキン「ル・ピコレ」、イシイがペットフードを出展していた。

海外出展者では、メキシコが最大級の規模で出展し、コーヒー、蜂蜜、植物油、アボガド、キャラメル、乾燥果実などを出展していた(写真)。

豪州は、有機農産物・畜産物生産者組合のビュリアが牛肉、羊肉、オーガニック・

ミートが牛肉の試食を行うなど、食肉関係の出展が多かった。米国のファーマーズ・オーガニックも、食肉、肉製品、乳製品などを出展していた。

初日に行われた記者会見で、全日本健康自然協会の生谷正樹理事長は、「日本のオーガニック市場を拡大するには、流通の整備が不可欠。日本のオーガニック市場は1%以下、ナチュラルも数%以内の規模。流通が整備されれば、コストも下がるし、世の中の情勢もそれらを受け入れ易くなっている」と述べた。

主催者であるニュールンベルク・クロール・フェアのディレクター、フランク・ヴェンヤコプ氏は、「世界のオーガニックの市場規模は約400億%で、米国は約



200億%。EUではドイツが最大だが、1人当たり消費で見れば、デンマークが最大となる。ドイツでも、6、7年前には、有機食品は専門店にしかなかったが、今では、普通のスーパーに並ぶようになった。まず、消費者に知ってもらうことが重要である」と述べた。

各種媒体搭載記事

日本農業新聞

2008年(平成20年)9月25日(木曜日)

国内外からの有機製品PR

東京で盛不衰



国内外で有機栽培の認知を受けた農産物などを紹介する第8回BIOFACH Japan Organic EXPO 2008

来場者に熱心に試飲を勧め、有機食品をアピール(24日、東京都江東区の東京ビッグサイト)

08が24日、東京都江東区の東京ビッグサイトで始まった。23万回から181社が出展。会場には有機栽培の大豆を使ったみそや飲料、綿製品が並び、来場者の注目を集めた。会期は26日まで。主催はドイツのイベント会社、ニコルベルク・グロバルフェアーズ社。農産物の「しまね有機ファーム」は、有機栽培した蕎麦や柿の葉茶をアピール。古野利路専務は「生産は系列の農業生産法人が担当する。生産から販売まで一貫してお

(3) 2008年(平成20年)10月5日(日曜日)

ニチレイ ル・ピコレを出展

オーガニックEXPO 08



約200社が出展してにぎわったオーガニックEXPO2008



フランス産のオーガニックチキン「ル・ピコレ」を展示したニチレイフレッシュ



日本食品工業がナチュラルEXPO 2008に出展した「親子丼の舞」。

鶏肉の輸入量は、大増の勢込み。食肉輸入入協会の調査によると、八月は前年同月の輸入量が約四割増の約四万五千トン、九月は約四万七千五百トン、十月は約四万七千五百トン、十一月は約四万七千五百トン、十二月は約四万七千五百トンと見込まれている。

食の安全・安心や、環境・フェアネスが九割を占める。フランス政府認定の第3手機関「エコシット」(EcoSitt)が主催する「オーガニック」(有機)の認証のオーガニック表示などを通じて、ル・ピコレの認知度をさらに向上させ、地道に販路を拡大。フランスのアン・ドゥ・マントワ(Ande-Mantou)の「ル・ピコレ」(ル・ピコレ)は、安全・安心の関心事を訴えている。近年ますます高まっている安全・安心の関心事を訴えている。近年ますます高まっている安全・安心の関心事を訴えている。

有機認証を受けたオーガニック製品も増えているものの、ニクベツ(牛肉)や、鶏肉(鶏肉)の輸入量は、大増の勢込み。食肉輸入入協会の調査によると、八月は前年同月の輸入量が約四割増の約四万五千トン、九月は約四万七千五百トン、十月は約四万七千五百トン、十一月は約四万七千五百トン、十二月は約四万七千五百トンと見込まれている。

8~10月の鶏肉輸入量予測

国	8月	9月	10月
合計	47,250	47,250	47,250
米国	31,814	31,814	31,814
タイ	1,485	1,485	1,485
アメリカ	11	11	11
ブラジル	0	0	0
その他	23,940	23,940	23,940

このほか、アメリカ大使館農産物貿易事務所は、米産品のオーガニック製品も増えている。ニクベツ(牛肉)や、鶏肉(鶏肉)の輸入量は、大増の勢込み。食肉輸入入協会の調査によると、八月は前年同月の輸入量が約四割増の約四万五千トン、九月は約四万七千五百トン、十月は約四万七千五百トン、十一月は約四万七千五百トン、十二月は約四万七千五百トンと見込まれている。

会場風景



BioFach Japan／ナチュラルEXPO事務局
エービーシーエンタプライズ株式会社
〒105-0001 東京都港区虎ノ門4-1-11-305
tel: 03-5404-7351 fax: 03-5404-7352
email: abc@inter.net

BioFach Japan／ナチュラルEXPO業務推進室
株式会社 スペースメディアジャパン
〒102-0083 東京都千代田区麴町5-1 弘済会館ビル6階
tel: 03-3512-5675 fax: 03-3512-5680
email: natural-expo@smj.co.jp

**BioFach Japanオーガニック／ナチュラルEXPO2009(10月7日(水)～9日(金))で
またお会いしましょう！**